

つぎの ぶんしょうを よんで、もんだいに こたえましょう。

学校でつかう、えんぴつやけしゴム、ぼうしなどには、名まえをかきます。どうして、名まえをかくのでしょうか。

一つめのわけは、じぶんのものだとすぐにわかるからです。学校には、おなじいりやかたちのものが、たくさんあります。名まえがかいてあれば、まちがえずにすみます。

二つめのわけは、おとしたときに、かえってくるからです。だれかがひろってくれたとき、名まえがあれば、もちぬしにとどけることができます。

名まえは、もちものの「なふだ」です。あたらしいものをもらったら、まず名まえをかきましょう。

(このもんだいのための かきおろし)

(一) 名まえをかく一つめのわけは、なんですか。「から」につづくように、ぶんしょうから十五字までで、かきぬきましょう。

(二) 名まえがかいてあると、学校でどんなよいことがありますか。ア～ウから一つえらびましょう。

- ア まちがえずにすむ。
イ あたらしいものがもらえる。
ウ えんぴつがおれにくくなる。

ア

(三) 名まえをかく二つめのわけは、なんですか。「から」につづくように、ぶんしょうから十五字までで、かきぬきましょう。

	お
	と
	し
	た
	と
	き
	に
	、
	か
	え
	っ
	て
	く
	る

(四) ものをひろった人は、名まえがあると、なにができますか。二十字までで、かきましょう。

る	も
。	ち
	ぬ
	し
	に
	と
	ど
	け
	る
	こ
	と
	が
	で
	き

【小I】国語 文章問題 説明文 2 答えと解説

問一（二十五点） 答え：じぶんのものだとすぐにわかる

解説：二つ目のまとまりの、さいしょの文から。

問二（二十五点） 答え：ア

解説：二つ目のまとまりの、さいごの文から。

問三（二十五点） 答え：おとしたときに、かえってくる

解説：三つ目のまとまりの、さいしょの文から。

問四（二十五点） 答えの例：もちぬしにとどけることができる。

解説：三つ目のまとまりから。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

- ①もちぬし（その人）に
- ②とどけることができる